

福岡工業大学

図書館報



Welcome to our library!

Library News

CONTENTS

巻頭エッセイ

- 私の読書経験から…………… P2
- 図書館のカウンターから… P3
- 言葉の世界…………… P3
- 図書館ホームページ活用法… P4~5
- 私の“おすすめ本” …… P6
- 話題の書棚から…………… P6
- オリエンテーション実施報告 … P7
- 図書館TOPICS …… P8



図書館報 Vol. 21 2005年10月発行

編集発行／福岡工業大学附属図書館

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

TEL (092) 606-0691 (ダイヤルイン) / FAX (092) 605-1080

ホームページ <http://www.lib.fit.ac.jp>



私の読書経験から



短期大学部
教授 石原 好宏

私がこのようなコラムに原稿を寄せるなど、学部時代までの状況を振り返ってみると、まったく考えられなかったことである。なぜならば、学部を卒業する頃までの私は、じっくり読書することなど、ほとんどなかったからである。小中学生の頃、母親が私の顔を見ると、いつも口癖のように、「本を読みなさい。あなたの今後にきっと役立つから」と言い続けてくれていたことを、今は懐かしく思い出す。当時の私は心のどこかで、「読書はきっと必要だと思う。しかし、どうしても我慢が続かないや」と思い込んでいた。何度となく挑戦もしたが、どうしても一冊の本すら最後まで読み通す根気が続かなかった。

ところが、大学院に進んで間もない頃、研究室の後輩の一人が私に一冊の本を紹介してくれた。芹沢 光治良の大河小説「人間の運命」の第一部第一巻「父と子」(1962/7/20、初刊)であった。その中に見たのは、決して無味乾燥な文字の羅列ではなく、作者によく似た主人公・森次郎の明治・大正・昭和にわたる波乱万丈の人生であった。私はそれを一気に読み通した。そして1968年11月に発刊された第3部第2巻までの全14巻を、発売日を待ち焦がれながら、完全読破したのであった。今この稿を書くために芹沢 光治良に関する情報をインターネット上で検索してみると、芹沢は1993年に96歳で世界したのだが、今なお新しい読者が現れ続けているらしいことを知り、大変に嬉しく思う。

この本との出会いを契機にして、私はその後も何人かの作家たちと出逢い、彼らの作品群を読み続け、今日に至っている。亀井 勝一郎、海音寺 潮五郎、山本 周五郎、司馬 遼太郎など、偶然にも三文字名前の作家たちばかりである。また、多くは、歴史物・時代物の作家たちである。そうした作品群には、長編物が少なくないが、結構楽しく読んできた。巻を開じると、これまでに読んだいろいろな作品への想いやイメージが蘇ってくる。読書は、我が身だけでは到底不可能な多くの素晴らしい疑似体験をさせてくれる魔法の杖である。読書の醍醐味についてNHKアナウンサーの山根 基世は、そのエッセイの中で「大好きなご馳走を、満足のいくまで食べ尽くすようなもの」と形容している。



文中で紹介された
芹沢光治良著『人間の運命』
(第1巻『父と子』)は本学に所蔵があります。
(913.6/SE 3階開架書庫)

最近の私は、贅沢にも、同時に数冊の本を平行して読んでいる。こうすれば、気分転換にもなるし、多様な思考や疑似体験を同時並行的に行なう楽しみがあるからである。



図書館のカウンターから

私が図書館でアルバイトを始めたのは、入学して初めての夏休みのこと。閉架書庫の整理要員として参加し、翌年の2年次から、夜間と土曜日のカウンター業務を行うこと早2年と少し。気がつけば4年までこのアルバイトを続けてきました。

図書館のカウンター業務というと、一見変わり映えのない退屈なイメージを持ってしまいがちですが、やはり大学の附属図書館。季節や時期により、色んな学生が図書館を訪れます。

春になると、入学したばかりで図書館の利用方法がわからず、入り口付近でうろうろする新生が多くやって来ますし、梅雨が明け夏になると、レポート作成や試験勉強のため、普段見かけない学生までも図書館に来るようになります。長い夏休みが明け秋になると卒業研究も本格スタートした4年生が参考書を抱え図書館と研究室を往復し、年が明けた頃から3年生が就職活動のため、対策本を借りにやってきます。私は高校でも図書委員としてカウンターに座ることがありましたが、ここまで時期により利用状況が変わることがなかったので、とても新鮮な気持ちでカウンターから行き来する学生を眺めています。卒業まであと数ヶ月。この図書館のカウンターに座ることのできるのはあと少しですが、最後まで、変化していく季節を感じていきたいと思っています。



情報システム工学科
4年 橋詰 智章

言葉の世界

私は、読書が好きです。落ち込んだ時、良い事があった時、いつでも本を開いて言葉の世界に浸っています。学校の図書館では、職員の方々がいつも私に声をかけてくれます。とても嬉しいです。

さて、ここで、私のお勧めの本を二冊紹介したいと思います。まず、一冊目はYoshiの「恋バナ赤」という本です。Yoshiは「Deep Love」や「Dear Friends」を書いた作者でもあり、「恋バナ赤」も、易しく読みやすい文章で多くの人が共感できる内容の本です。この



社会環境学科
2年 一井 知子

本には「恋の詩」という詩もあり、優しい気持ちになれます。

そして、二冊目は田口ランディの「できればムカツかずに生きたい」という「生きる」という事がテーマの本です。この本を読むと家族や友達、身近にいる人々の大切さに気づかされます。そして、今の自分をありのままに受け止める勇気を持つことができます。私は、十六歳の頃に高校を辞めてから、今までなんとなく社会での「生きづらさ」を感じていたので、この本を読んで、「過去は過去。これからどう生きるかが大切なんだなあ。」と思いました。

皆さんも、ぜひ自分の好きな本を見つけて、言葉の世界に浸ってみてくださいね。



図書館 ホームページ活用法

図書館ホームページ(<http://www.lib.fit.ac.jp/>)には蔵書検索や利用案内はもちろんのこと、他にも様々な機能があります。ホームページの機能を上手に活用することで図書館の利用もより一層便利で充実したものになるでしょう。

今回はその中から知っているとは便利な機能を紹介しますので、ぜひ活用して役立ててみてください。

■貸出情報の照会

図書館で本を借りていると、「現在借りている本の返却期限はいつまでだったか?」「今、何冊本を借りていたか?」など、つい忘れてしまいがちです。こうした場合に図書館ホームページから貸出情報の照会を行うことができます。

(1) 図書館ホームページのメニュー画面より「利用者情報」をクリックします。(図1-1)

(2) ユーザーIDとパスワードを入力して「ログイン」をクリックします。(図1-2)

※ユーザーID、パスワードの初期値はともに、学籍番号(または身分証・図書館利用カードの番号)になっています。パスワードの変更はログイン後の画面で可能です。なるべくお早めの変更をお勧めします。



図1-1



図1-2

(3) ログイン後の画面で貸出中の資料名と貸出日・返却予定日が確認できます。パスワード変更もこの画面から行えます。(図1-3)

※変更後のパスワードについては、本人が責任を持って管理ください。

(貸出情報の照会画面)

▼利用者情報 (12/21:卒業生 | 貸出状況)

利用者ID	0241204
利用者名	アスカノープ
学部名	情報工学部
学年名	情報工学B3

▼貸出情報

図書 ページ: 1 / 766-12件

書ID	書名	請求記号	借出年月日	借出場所	返却
0018074	コンピュータネットワーク技術 第2版	007.6/H	2005/08/24	2005/08/08	
0018080	コンピュータネットワーク技術 第2版	007.6/H	2005/08/24	2005/08/08	

雑誌 ページ: 1 / 766-12件

書ID	書名	請求記号	借出年月日	借出場所	返却
0018087	コンピュータネットワーク技術 第2版	540	2005/08/24	2005/08/08	

図1-3



■文献複写依頼(学内者専用)

必要な文献が福工大図書館に所蔵されていない場合に、他大学等から文献を取り寄せたり、文献複写を行うための申請を、図書館ホームページから行うことができます。 ※当サービスは学内者専用です。

- (1) 図書館ホームページのメニュー画面より「文献複写依頼」をクリックします。(図2-1)
- (2) 申込者情報及び、資料名、巻号、ページ数、年次、著者、論題を入力して「申込」をクリックします。(図2-2)



図2-1

複写申込(以下の項目にご記入ください)

所属科別:

名前:

E-mail address:

(以下は学生の方のみにご記入下さい)

学籍番号:

所属科(学)名:

題名:

巻 | 号 | 冊 | 年 |

著者:

頁数: 頁 | 複写は幾冊希望?:

備考:

最後に記入欄がない場合は、送書料を支払って下さい。

図2-2

以上で文献複写の申込は完了です。



私の“おすすめ本”



電子情報工学科
教授 川畑 茂徳

「中国の大盗賊・完全版」(高島俊男)

日本のどろぼうは一人でやって来て大風呂敷を担いで出ていくが、中国の「盗賊」はかならず武器を持った集団である。これが力をたのんで村や町を襲い、食料や金や女を奪う。そのうち大きくなって、都市ひとつ占拠して居座ったりすると、なかなか手がつけられなくなってくる。しまいには国都を狙い、天下を狙う。実際に天下を取ってしまった例に乏しくない。この本の魅力は盗賊のかわから中国の歴史を見る面白さ、目からウロコが落ちる。主題は最後の盗賊王朝中華人民共和国と、その創業皇帝毛沢東、二十世紀の中国は盗賊なしには理解できない。

最も息の合った対談の名人、丸谷才一と山崎正和が二十世紀とは何であったのかを考えようと絶妙の話芸を繰りひろげた歴史対談が「二十世紀を読む」である。匪賊と華僑をテーマの一つに、対談は日本の泥棒と中国の匪賊からはじまり、日本に匪賊が出ない理由を語り、二十世紀アジアの社会原理におよぶ。素材の一つが「中国の大盗賊」であることはいままでもない。

高島俊男さんは中国文学が専門で文章の達人である。主な著者に最近話題になった「漢字と日本人」や「お言葉ですが……」など多数。

『中国の大盗賊・完全版』は本学に所蔵があります。(B222/T 3階文庫コーナー)

話題の書棚から

昔ではちょっとした脳ブーム。「脳を鍛える」といったドリルが流行ったり、脳科学の分野がテレビや雑誌で頻りに取り上げられたりしています。脳っていったい何だろう？皆さんも一度ならず考えたことがあるのではないのでしょうか？

『心を生み出す脳のシステム：「私」というミステリー』

茂木健一郎 著(B491.37M/3階文庫コーナー)

著者は脳科学の第一人者。「自分」という存在を知るために脳科学の研究を始めたそうです。脳内のメカニズムを解き明かしながら、人の意識、心、感覚、そして「人間とは」という哲学的なテーマに挑んでいきます。



『進化しすぎた脳：中高生と語る(大脳生理学)の最前線』

池谷裕二 著(491.371/3階話題書コーナー)

中高生との対話式で進められたこの本は、最先端の脳科学をわかりやすく披露してくれます。脳の仕組み、能力、アルツハイマー病の原因など脳のトピックスが満載。「私自身が高校生の頃にこんな講義を受けていたら、きっと人生が変わっていたのではないかな？」という著者の言葉を体験してみましょう。



オリエンテーション 実施報告

新入生オリエンテーション／文献検索オリエンテーション

毎年恒例になった図書館オリエンテーション。今年度は新入生・文献検索オリエンテーションともに4月からの同時開催となりました。

新入生オリエンテーションは職員のご案内によるツアー形式です。歩きながら館内を回り、どんな資料があるのか、どんなサービスを受けられるのか、また貸出・返却や本の探し方など、大学生活に必要な図書館の利用方法について説明を行いました。また文献検索オリエンテーションは主に卒業研究生を対象とし、オンラインデータベース検索の実習を中心に一人1台のパソコンを使い、卒業・研究論文作成に必要な情報・文献の検索や収集方法について説明を行いました。

※どちらのオリエンテーションも要望があれば、時期を問わずいつでも行います。興味を持たれた方、図書館をもっと上手に利用したい方は、お気軽に図書館カウンターへお申し出ください。(本部棟3階)

●新入生オリエンテーション

学 科	回 数	参加人数
生命環境	1	1
知能機械	1	1
情 報	1	8
情報通信	2	7
社会環境	16	141
短 大	6	134
合 計	27	292

●文献検索オリエンテーション

学 科	回 数	参加人数
機能材料	3	11
知能機械	3	7
電 気	1	5
情 報	1	4
管理情報	1	4
社会環境	7	54
合 計	16	85



端末を使って蔵書検索の実習



本の並び方は…



職員が丁寧に説明します



真剣に例題取り組み中

本 話題書コーナー貸出ベスト5

- ①蹴りたい背中 綿矢りさ(河出書房新社)
根強い人気で今回もベスト1
- ②ダ・ヴィンチ・コード ダン・ブラウン(角川書店)
映画化決定の話題のミステリー
- ③ダーリンは外国人 小栗左多里(メディアファクトリー)
国際結婚のまんがレポート
- ④蛇にピアス 金原ひとみ(集英社)
今時の若者像を描いた芥川賞受賞作
- ⑤いま、会いにゆきます 市川拓司(小学館)
泣きたい時にこの1冊

ビ デオ・DVD貸出ベスト5

- ①酔拳2スペシャル・エディション
主演 ジャッキー・チェン(1994年)
- ②AKIRA
原作、監督 大友克洋(1988年)
- ③モンスターズ・インク
製作 ディズニー&ピクサー(2002年)
- ④トゥームレイダープレミアム・エディション
主演 アンジェリーナ・ジョリー(2002年)
- ⑤アルマゲドン
主演 ブルース・ウィリス(1998年)

図書館TOPICS

福岡県西方沖地震

3月20日、震度6弱を記録した福岡県西方沖地震が発生し、「福岡には地震はない」という安全神話を信じていた私たちに大きな衝撃が走りました。

本学の図書館でも総蔵書数25万冊のうち約3分の1が書棚から落下し散乱するという事態となりました。この日は休館日だったため、ケガなど人への被害がなかったことがせめてもの幸いでしたが、それでも地震直後の、数万冊に及ぶ資料がフロア全体に散乱してしまった状況は、まさにこれまでに図書館が経験したことのない非常事態でした。

しかしこの非常事態に対して、地震翌日には学内から大変多くの方々に応援を頂き復旧作業に臨むことができました。その結果、地震発生の日々には通常程度の開館が行えるまでに復旧のめどが立ちました。復旧作業にご協力頂いた皆様には改めて感謝申し上げます。



地震で散乱した資料



多くの応援を頂いての懸命な復旧作業

あの地震から半年、本学の図書館はあの時の地震が嘘のように、静かな平穏とした姿を取り戻しています。しかしその一方では玄界島をはじめ、未だ復興が続く地域もあります。静かで平穏な場所に居れば居るほどに、薄れていく記憶——ほんの半年前には誰もが思いがけず被災者であったこと、本当の復興はまだ終わってはいないこと——を忘れてはいけないのだと思います。

就職応援コーナー

図書館入口前のフロアには、図書館報や美術展の案内、自治体のイベントのパンフレット等をご自由にお取りいただけるよう常設しているコーナーがあります。このコーナーに9月から新たに就職課関係の資料を追加しました。就職活動に役立つガイドブック、読本、パンフレットを備えています。ぜひご利用ください。

また館内には就職関係の本を集めたコーナーがあります。面接や試験の対策本、問題集など最新の情報が充実しています。この2つのコーナーを上手に活用して、就職活動に役立ててください。



検索コーナー端末ディスプレイ一新しました



広々とした検索コーナー

3階閲覧室・検索コーナーの端末ディスプレイを一新しました。ブラウン管タイプから薄型の液晶ディスプレイに変わり、とてもスッキリとした印象です。閲覧室の空間も広く明るくなり、大変利用しやすくなりました。

図書館からのお願い

●返却期限が過ぎていませんか？

夏期休暇期間中に借りていた図書の返却は済んでいますか？

返却期限の過ぎた本を持っていると新たな貸出ができません。もう一度確認をして下さい。

●平成18年3月に卒業・修了予定のみなさんへ

【平成18年2月28日(火)】が図書返却の最終期限となっています。それまでに貸出中の図書をすべて返却されなかった場合は、図書館利用規程に基づき卒業判定教授会において、「卒業保留」となりますのでご注意ください。紛失・破損などしている場合は手続きに時間がかかりますのでお早めに図書館カウンターまでご相談ください。